

# 甚小だより



あま市立甚目寺小学校  
20号  
平成25年2月7日

## ユネスコスクール加盟承認書届く！



ユネスコスクール参加校の承認書  
本校が、ESDの視点に立った教育の取り組みを始めたのは、平成22年度からでした。当時、ESDという言葉すら一般的ではありませんでしたが、最近では商業紙（新聞）でも取り上げられるように市民権を得た感があります。ESDはもともと日本が提唱した取り組みです。その趣旨に沿った教育を進めているのが、ユネスコスクールです。2014年（平成26年）には、全体会は名古屋市において、学校教育におけるESDに関するユネスコ世界会議は岡山市において開催されます。ユネスコスクールやESDの取り組みは、これまで以上に注目されることでしょう。ESDは将来にわたって持続可能な社会を構築するために問題意識をもち、人と意見を交わし、ともにあるべき方向に向かって行動する人材を育てる教育です。さらに、健康と体力を加えると、学習指導要領で示された「生きる力」の育成に深く関わっていると思います。

本校では、人権教育を中心に据え「ふるさと甚目寺」をメインテーマとして、教科等の枠を超えた総合学習（生活科と総合的な学習の時間を含む）を中心に、横断的・総合的な学習づくりを進めてきました。この学習を確かなものにするために、先進校の取り組みを導入し、各学年がESDカレンダーを作成しました。このカレンダーには、教科や道徳や特別活動などの学習内容が関連づけられ、子どもたちがより学習を深めていけるように設定されています。

現在、全国で550校あまりの学校がユネスコスクールに加盟しています。本校もその一校に加わりました。昨年10月に、日本ユネスコ国内委員会に加盟申請書を提出しました。審査後、日本からユネスコ本部（パリ）へ送られ、12月21日付にて加盟承認書が発行され、愛知県教育委員会、あま市教育委員会を經由して2月4日に学校に届きました。

なお、ユネスコスクール本部からの送り状（写真：右）には、下記の内容が、記されていました。【訳：原 邦子先生（甚小ALT）】



貴校が、今やユネスコスクールの世界的なネットワークの一員であると通知できることを嬉しく思っています。ASPnet（ユネスコスクール）に参加することは、貴校にとって重要な決定であります。ユネスコスクールの実践は、人間重視で文化的、そして国際的な教育の重要性を強化することにより、質の高い教育を推進するための取り組みです。ASPnet 加盟校は、各々の地域社会の中で、ユネスコの理想を推進するために奉仕します。  
<送り状の内容 抜粋>

あま市の広報2月号「特色ある学校づくり」の取り組みが、ユネスコスクールとしての取り組みになります。子どもたちがこの地域で大切にしたいものに目を向け、人や地域にかかわり、人から人へつたえ、人や地域とつながる学習は、知・徳・体のバランスのとれた人格形成の一助になると考えています。そこには、学習を企画する教師の存在があり、学習する子どもたちを応援する保護者の存在があり、学習を支援する地域の方々があるからこそ成り立つものです。各学年、取り組む内容は異なりますが、子どもたちが元気（エンパワー）に学習できるように、これからも続けていきたいと思えます。



あま市ものしりジュニア検定講座  
【6年 1/21 於：甚小図書室】